

# “聖隷DX”構築へ

## センサーで夜間業務軽減

社会福祉法人聖隷福祉事業団（浜松市）は3月、介護付有料老人ホーム「湘安エデンの園」など計5施設に、エコナビスタ（東京都千代田区）の高齢者見守りシステム「ライフリズムナビ+Dr.」（以下・ライフリズムナビ）を導入。入居者の快適な生活とスタッフの負担軽減を図る。

### 社会福祉法人聖隷福祉事業団



平川健二 常務執行役員

ライフリズムナビは、80事業所、5000名に利用されている専門医考案のクラウド型高齢者見守りシステムだ。ベッドのマットレス下に取り付けた非接触睡眠センサーや居室内に温湿度センサー、天井やトイレへ人感センサーを配置。睡眠データ、温湿度データ、活動量データを取得し、介護職員に代わり身体状況や居室の入



▲湘安エデンの園外観

居者の活動状況を見守る。非接触であるため、入居者のプライバシーを確保することもできる。居室内の生活情報は、従来から使用しているエデンの園基幹システム「E-eden Total System



▲導入イメージ

m（以下・ETS）に自動的に記録させることにより、職員の記録業務の負担軽減にもつながる。また、夜間帯2時間ごとの定時巡回業務・記録業務の入力時間が大幅に削減されることで、ケアが必須は「入居者の安心・安全、職員の負担軽減を目的にセンサーの導入を検討していた。入居者のプライバシーを守る、職員が扱いやすいことなどを総合的に評価してライフリズムナビを導入することにした」と語る。

同法人では、「聖隷DX」に向けて、ライフリズムナビで取得したデータとETSで入力された記録データを有効活用していく。介護報酬改定においても求められる科学的介護への対応にとどまらず、職員が少数であっても質の高い介護サービスの提供を可能にするが、効率性の高い業務体制を構築し、人材不足の問題を根本から変えるビジネスモデルの確立を目指す。今後、同法人はエデ

## 入所者のQOL向上へ 施設向けパーティション開発

社会福祉法人奉優会



▲ベッドに設置して利用

施設での面会時のコロナ予防、WEB会議時の防音対策にも活用できる。災害時には、シートを被せて利用することでプライバシー保護としても利用可能だ。

特別養護老人ホーム「目黒中央の家」の小林健太郎施設長は「ベッド上で過ごすことが多い入居者のQOL向上を考えて開発した。感染症・災害対策など多様な使用方法があるので施設に常備して欲しいと考えている」と語る。



▲WEB会議にも使用できる

安全、職員の負担軽減を目的にセンサーの導入を検討していた。入居者のプライバシーを守る、職員が扱いやすいことなどを総合的に評価してライフリズムナビを導入することにした」と語る。

同法人では、「聖隷DX」に向けて、ライフリズムナビで取得したデータとETSで入力された記録データを有効活用していく。介護報酬改定においても求められる科学的介護への対応にとどまらず、職員が少数であっても質の高い介護サービスの提供を可能にするが、効率性の高い業務体制を構築し、人材不足の問題を根本から変えるビジネスモデルの確立を目指す。今後、同法人はエデ

居室にも導入していく。将来的には介護ことも視野に入れていく。居室だけでなく、一般

東京都東久留米市などで在宅医療・介護事業を展開する五輪会グループ。その中で介護が隣り合わせに連続している形となっている。キールズは今年、大型団地内で保険外の運動教室を開始した。4コマとなっており、参加者には毎週決まった曜日・時間のクラスを選択してもらう。運動メニューはリハの滝山団地内にある。ピリ・マッサージ・予防の観点から理学療法士・柔道整復師・健康運動指導士が考案。イ

## 大型団地に運動教室 医師によるオンライン相談も クラス固定で仲間作りを

ンストラクターも専門職が担当する。会員制とし、「運動のみ」運動+身体ケアコースがあり、特徴的なのが医師や管理栄養士による週一回、15分のオンライン相談のオプションがあること。病院にわざわざ行かなくても、五輪会Gの医師から日々の体調について気軽に相談ができる。

「自治会からは特に男性の参加を促しては



▲団地内の高店街に立地

しいとの声がある（赤星良平社長）。各クラスの定員を10のポイント制とし、50ポイント貯めると団地商店街で利用できる1000円分の商品券を配布する。運動教室の原慶香マネージャーは「認定を受けていてもデイに行きたがらない高齢者などにも積極的に参加してもらいたい」と話し、地域包括ケアマネにも周知させていく。

（東京都世田谷区）は8日、高齢者・医療施設向けパーティション「無敵ボックス 快適くん」を発売。独自の特許技術によるボックス型のパーティションで4方向のアクリルパネルにより感染症を予防する。

新型コロナウイルス感染症の陽性の可能性がある利用者のベッドに設置することで、クラスターを防ぐ。また、介助の際にスタッフも

介護Biz